



# 憲法9条の会つくば ゆ 結 い

## コミュニティーニュース

2009. 9.20 No.29

発行「憲法9条の会つくば」  
〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12, 1-401  
電話 090-3811-3753 Fax 029-856-2286  
<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

## 憲法9条への賛同の輪を大きく広げ、 4周年記念のつどいを成功させましょう!

今年の8月は冷夏でした。8月6日の広島、9日の長崎への原爆投下の時刻に合わせて、つくば市のいくつかの寺院や教会、福祉施設などで「平和の鐘」が鳴り響きました。

今年4月、米国のオバマ大統領が「核兵器を使った唯一の国」として、「核兵器のない世界」を実現するために努力する「道義的責任」があると述べた演説は、世界の核兵器廃絶への流れに大きな希望をあたえています。日本の20%の市町村と世界の3000を超える都市が加盟する平和市長会議の総会の「ナガサキアピール」は、2020年までの核兵器廃絶の道筋を示す「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を来年5月の核拡散防止条約(NPT)再検討会議で採択することを、各国政府や国連に求めました。日本政府に対しては「唯一の被爆国として、世界的な運動を主導すべきだ」と指摘しています。広島市長は「平和宣言」で「核兵器の廃絶を実現しようと世界に呼びかける」思いは、「世界的評価がますます高まる日本国憲法に凝縮されている」と述べています。



被爆国として「世界的な運動を主導」するためには、核持込の密約を明らかにして、文字通りの非核3原則を実現しなければならないでしょう。

原爆投下と戦争と平和に想いをいたす同じ8月、総選挙が小泉郵政選挙以来4年ぶりに行われました。民主党が308議席を獲得して圧勝し、国民の暮らしをないがしろにしてきた自公政治の終焉を告げています。

総選挙の結果、憲法改正を党是とする自民党などの新憲法制定議員同盟に所属する改憲派議員は139名から53名へ激減しました。しかしながら、10年間の自公政権の下で、日米軍事同盟と一体の自衛隊の「海外派兵」を既成事実化し、「ミサイルシステム」や「核の傘」の強化を唱える潮流は強大です。それに抗して、憲法9条を守り生かして、非核の日本と核廃絶を積極的に進める平和外交を実現する運動も、草の根「9条の会」の増大や核廃絶の世界的潮流を受けて躍動しています。

新しく誕生した民主党を主体とした連立政権に対して、自公政権の既成路線から決別し、具体的政治課題で刷新を求める運動が、いよいよ大切になっています。憲法9条を守り生かす世論を高め、平和外交を目指す日本へ、舵を切り代えさせるために力を尽くしましょう。

「憲法9条の会つくば」は「4周年記念のつどい」を11月1日(日)、つくばカピオホールで開催します。「記念のつどい」までに、つくば市の賛同人を600名に、賛同署名は10000筆以上にする目標を達成する行動とともに、多くの皆様に「記念のつどい」への参加のよびかけを盛大に行いましょう。「記念のつどい」を見事に成功させ、新たな出発点とするために、皆様のご協力をお願いいたします。



### 「結」29号のおもな内容

- 1面: 今、憲法9条は?
- 2面: 賛同を拡げる運動、「戦争体験を語り継ぐ会」感想、7月勉強会
- 3面: つくばの「平和の鐘」・今こそ憲法の力をつけよう・「国民平和大行進」に参加して、「文芸9条」
- 4面: 「戦争を想う、平和を想う」、「戦争への想像力」など

### 行 動 予 定

- 10月 4日(日) 地域チラシ配布行動 並木地区予定
- 11月 8日(日) 定例街頭署名 12時~13時 アルス前
- 10月 7日(水) 「記念のつどい」第7回実行委員会  
19時~21時 並木公民館
- 10月 11日(日) 事務局会 10時~12時半 並木公民館
- 11月 1日(日) 「4周年記念のつどい」 13時~16時半  
つくばカピオホール
- 11月15日(日) 定例会 10時~12時半 並木公民館

## 会の活動から

### 8. 9月の署名行動など

8月定例街頭署名(8月2日)は、開始とともに小雨が降り出すあいにくな天気でしたが、6名の参加で44筆の署名、1名の賛同、カンパ1000円をいただきました。また、2名の賛同人から個人署名計20筆寄せられました。

9月定例街頭署名(9月6日)は、ライブの荒牧さんを含め炎天下8名の参加で59筆の署名、1名の賛同、カンパ500円をいただきました。また、個人署名が2名の賛同人から計16筆寄せられました。

9月9日は「9. 9. 9. 09統一行動」。「戦争をしないための選択・9条を考える道南の会(函館)」の呼びかけに応じて、TXつくば駅にて午前9時9分行動開始。6名が参加して9条チラシを160部、「4周年記念のつどい」の案内チラシ70部を配布しました。「9の日の憲法9条を守る行動」とのよびかけに耳を傾けて歩む方も多く見られました。(署名担当 片岡)

◆賛同人 9月 9日現在

総数716名 (市内543名)

「4周年記念のつどい」(11/1)までに

賛同人1人が1人の賛同人を!

◆9条署名 9月 9日現在 累計: 7434筆

8月定例街頭署名: 44筆

9月定例街頭署名: 59筆

個人署名: 協力延べ31人、累計: 330筆

### 子どもたちに聞かせたい おじいちゃん・おばあちゃんの戦争の話・・・戦争を語り継ぐ会・・・

夏も終わりに近づいた8月23日、梅園集会所のホールで、弦巻さんのお話を伺いました。

太平洋戦争が始まった日に遡る、肉親や近い人との別れ。成長するに従って忍び寄ってくる戦争の影。次第に日常生活に浸透していった軍国主義教育……。当時は当たり前、また仕方のないことだと思われていたそれらが加速して、やがて手の施しようがないほどの大きな流れとなって平和な日々を押し流してしまう様子を、静かな集会所の一室で聞きながら、何度も背筋がひやりとするような気がしました。今日の状況と、どこかが似てはいないだろうか……。そんな問いが頭から離れません。気づかないまま進んでいたら、いつしかまた同じことが繰り返されてしまうのではないだろうか、と。私は戦後生まれの20代、実際の戦争の影響は何一つ受けずに育って来ました。最も危機感を覚えるのは、同世代の中に戦争を容認したり、戦争を恐ろしいと思わない感覚が生まれ始めていることです。戦争を知らず、自分の一番身近な親や祖父母から経験を聞くこともなく育ち、全てを奪ってしまう戦争に対する具体的なイメージを持ってなくなっている若者が多いのではないのでしょうか。弦巻さんのおっしゃった「問い返すこと」、自分に、時代に、世界に、これでいいのかと確かめ、問いを発し続けることを心に留めながら、二度と戦争を起こさないために、語り継がれた記憶をまた次代へと伝えることを考えていかなければならないと思っています。(穂積 怜)

### 勉強会自衛隊の現状について……(7月19日定例会にて)……

①自衛隊は強力な軍隊である。海上自衛隊は世界2位、航空自衛隊は世界2位、少なくともアジア最強、陸上自衛隊は世界10位以内の実力と評されている。②イージスシステムを始め米軍と一体。陸上自衛隊もアメリカの演習場を使用。③兵器は大変高価。その国産化で軍事産業が肥えている。(その後の新聞報道によれば、国産は輸入に比べて割高、例えばF15戦闘機はアメリカ製の4倍以上の値段)④長距離輸送機、特殊部隊など海外派兵への対応化が進んでいる。⑤村雨、千代田、愛宕など、旧日本軍の名称をもつ艦船もあり、自衛隊は旧日本軍を継承する意識が強い。などを報告した。

右翼的な論者も自衛隊はとても強いと述べている。北朝鮮のことで国民を煽って、さらに増強しようなんてとんでもないことだと思う。(学習担当 阿部きよ子)

### 「4周年記念のつどい」 輝け!憲法 守ろう!いのち

日時: 2009年11月1日(日) 午後1時開演

会場: つくばカピオホール

記念講演: 小森 陽一 さん

演題: 憲法9条の実践力! 過去・現在・未来

文化行事: 神田 香織 さん

演目: 立体講談「はだしのゲン」

「憲法9条の会つくば」  
4周年記念のつどい

実行委員を募っています!

「4周年記念のつどい」の詳しいご案内は、同封のチラシをご覧ください。

## つくばに「平和の鐘」響く

「平和の鐘・一振り運動」提唱者である鶴文乃さんの呼びかけに応え、つくば市のお寺や教会などに、8月6日と9日の「原爆忌」に「平和の鐘・一振り運動」へのご協力をお願いしました。「北斗寺」と介護施設「長寿館」では、参加者が鐘を撞くことができました。「めぐみ教会」と「万蔵院」(岩井)、そしてその他でも、鐘を鳴らしていただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。来年は、もっと多くの寺院や教会のご協力を得られるようにお願いしたいと思います。(長田)



### 参加された方々の感想です。

Oさん：6日 8:15、9日 11:02。栗原の北斗寺で、一人ひとり、一振りの鐘を撞き、その余韻が消える10秒間、原爆の犠牲になられた方がたを慰霊し、核廃絶と平和をまもるために、これからも活動を続ける決意を新たにしました。6日は10人、9日はお寺のご住職夫人やご近所の方を含めて11人が参加しました。

## ～ 平和の鐘・一振り運動 ～

Hさん：長寿館では9日11時から鐘を撞きました。参加者は、長寿館が経営する幼稚園の先生と園児さん、長寿館の幼稚園の責任者と当日勤務の職員さんに賛同人の方方で計18人でした。皆で1回ずつ鐘を撞いた後、鐘の前で記念写真も撮りました。鐘撞き後、長寿館の職員さんから、冷たいお茶の缶の差し入れがあり、感激しました。お礼と共に、早々に来年のお願いもしました。

Kさん：自由が丘めぐみ教会では、6日 8:15に鐘を鳴らしていただき、3名の参加者で平和への祈りを捧げました。9日は礼拝の日でしたので、6名の参加者と教会の人と一緒に讃美歌を歌い、阿部牧師のお話をお聞きました。そして11:02に特別に鐘を鳴らしていただきました。初めての経験で少し戸惑いましたが、平和への想いは、それぞれ立場の違いを越えて皆同じなのだ改めて感じました。



## 今こそ「憲法の力」をつけよう！

～今を生きる私たちの責任～

8月9日、筑波バプテスト教会で、弁護士、法学館憲法研究所「伊藤塾」塾長・伊藤真さんのDVD上映会を行いました。講演を聴いて、私は、国民と国家のあり方が憲法によって確立しているにもかかわらず、国民は個人として尊重されていることを教えてもらっていないなあ！と感じました。

今、「規則・法律というものは、偉い人が、国民の代表として決めて、国民はそれに従わなくてはいけない」という概念が、憲法にも通用されてしまっている。でも、憲法が主張している「国民の姿」は、政府の行為によって、再び戦争の惨禍がおこることがないように見張っている義務を持っていることであるという。多数派が戦争しようとしたときにも、一人一人の権利によって平和を主張し、平和を回復することが認められているのだということでした。(武林真智子)

## 7月3日、4日「国民平和行進」に参加して

7月3日の「平和行進」は、JR石岡駅からJR荒川沖駅まで。かすみがうら市長、土浦市長・市議会議長の原水爆禁止世界大会に向けたメッセージを託されました。翌4日は、労組や平和団体の旗がたくさん並びながら、約50名がつくば市を出発、終点・龍ヶ崎を目指して行進。並木大橋や荒川沖、ひたち野うしくなどで、婦人団体や生協の方たちからバナナやスイカや冷たい飲み物の差し入れを頂きました。終結集会では龍ヶ崎市長が、行進団の歓迎の言葉と原水爆禁止に向けたメッセージを述べました。



2日間の歩行距離は50kmを超えました。かすみがうら市長、龍ヶ崎市長自らが「平和行進」を歓迎して集会で挨拶し、メッセージを述べる光景を目の当たりにし、「原水爆禁止」の草の根の運動が自治体の首長クラスにまで確実に広がりを見せていると実感しました。(勝俣圭一)

- ◇ 文芸9条 ほっとタイム
- ◇ 耳澄ます 核廃絶の蝉の声
- ◇ 知恵比べ 西瓜畑のクラスかな
- ◇ 総選挙 終戦月を生かさねば

激変、行く手は如何にと法師鳴く 亀林



# 戦争を想う、平和を想う

## 「平和への想い」

大塚 信茂 (つくば市二の宮)

私の両親は、大正の末期、富山県から遙々津軽海峡を渡って北海道へ開拓農民として移住しました。当初割り当てられたのは荒地ばかりで作物が採れるような土地ではなかったようで、以来、13回にわたり、より肥沃な土地を求めて小作農として、引っ越しを繰り返しました。最終的に落ち着いたのは、北海道の片田舎砂川町（現、砂川市）であり、あの戦後の民主化（農地改革）でやっと小規模ながら自作農となることができたときでした。その間、1女5男に恵まれました。

長兄は、日中戦争（支那事変）に招集され戦地で病気に罹り、復員後間もなく昭和17年に亡くなりました。末っ子である私は当時5歳でしたので、戦地の状況について直接聴くことができませんでしたが、親からの話だと、連夜のようにオオカミの遠吠えが聞こえる酷寒の地旧満州北部だったので寒さと飢えで大変だったようです。死に際に家族に「仏壇の戸をいっぱい開けておいてくれ」と言ったそうです。この言葉は何を意味していたのか？ 私には、“戦争は最も悲惨なものであり、貧困と不幸以外にもものももたらすものはないことを、結婚もできず、いわんや子孫を残すこともなく身を以て痛感したからこそ、その向こうにある平和の楽園を夢見ての悲痛な訴え”であったよ



うに思われます。

昭和20年8月、親に連れられて石狩川沿いのお寺で終戦を知ったときには、子供心に「ああ！これでアメリカのB29の爆撃の恐怖から逃れるために防空壕に逃げ込むことはないのだ」とホットしたことを覚えています。

去年の夏、体調を崩し入院中の次兄（82歳）を見舞いに行ったときのことで。いろいろな疾患の他に認知症も進んだ状態の中で、兄弟たちの前で“戦争だけはお前らやっちゃいけないぞ”と謔言のように繰り返していたのを忘れることができません。

あの世界を敵にまわした太平洋戦争の痛苦をつい忘れがちですが、現状はどうでしょうか？1 昨年の国会では憲法改正のための国民投票法が制定され、更に、先の国会では憲法改正原案を審査する権限を持つ「憲法審査会規定」も制定されてしまいました。平和憲法を改悪し、戦争のできる国に仕立てようとする勢力のこの策動を阻止し、数え切れない尊い命の犠牲の上に獲得した世界に誇る平和憲法を何としても守り抜かなければなりません。今回の総選挙の結果、政権交代が行われたとはいえ、この策動を内包していることに変わりはありません。憲法9条の会の益々の活躍に大きな期待が寄せられています。私も、そのために微力ながら尽くしたいと思います。

## インフォメーション

### ◇ 石岡地域憲法9条の会 結成3周年記念事業講演会

講師：澤地久枝さん 演題：「いのちの重さ」

日時：10月3日（土）13時30分～16時（開場：13時）

場所：石岡市民会館大ホール ※入場整理券が必要

主催：石岡地域憲法9条の会/「澤地久枝さんの講演会」を成功させる

実行委員会 問合せ先：0299-35-5315(稲田)

### ◇ 第3回北関東憲法フォーク・ジャンボリー

日時：10月12日（月・体育の日）12時30分～（開場：12時）

会場：つくば市ゆかりの森野外ステージ（雨天決行）

出演：北関東で活躍のフォークグループ ゲスト：笠木透と雑花塾

参加費：大人1500円（前売り、当日1800円）

中高生・障がい者1000円（前売り・当日とも）

主催：北関東憲法フォーク・ジャンボリー実行委員会

問合せ先：0296-35-0931(北嶋)

### ◇ 茨城県母親大会

日時：2009年10月18日（日）10時～16時

場所：茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 午前の部：分科会

午後の部：記念講演 講師：伊藤真さん 演題：「未来の子どもたちに

伝えたいもの」ー夢は世界の幸せの総量を増やすことー

主催：茨城県母親大会実行委員会、龍ヶ崎母親大会実行委員会

問合せ先：029-824-8949, 0297-65-8806



## 戦争への想像力

8月15日の赤旗新聞の「元軍医の証言」を読み、衝撃を受けました。「加害の事実を追及しないと戦争の事実はわからない。しかし被害者はやられた痛みを忘れない。戦争の真実を知るには、被害者の立場にたって事実をみるのが大事。戦争への想像力を働かせてほしい」。これは戦争を経験した人にしかわからない言葉だとしみじみ思いました。私達はこの言葉を肝に命じて、9条の会の活動を少しでも前に進めなければと思います。（軽部和子）